

SUPER ROOF

スーパーハイブリッドシステム

Super System

SUPER FUSSO ROOF / SUPER SILICONE ROOF



関西ペイント

進化

ハイブリッド工法が、更に



標準形

初夏から秋の暑い時期に最適。従来品よりポットライフが長くなり作業性が向上します。



低温形

低温時期の作業性が格段に向上。低温時の塗装時間が延長でき耐白化性が向上します。

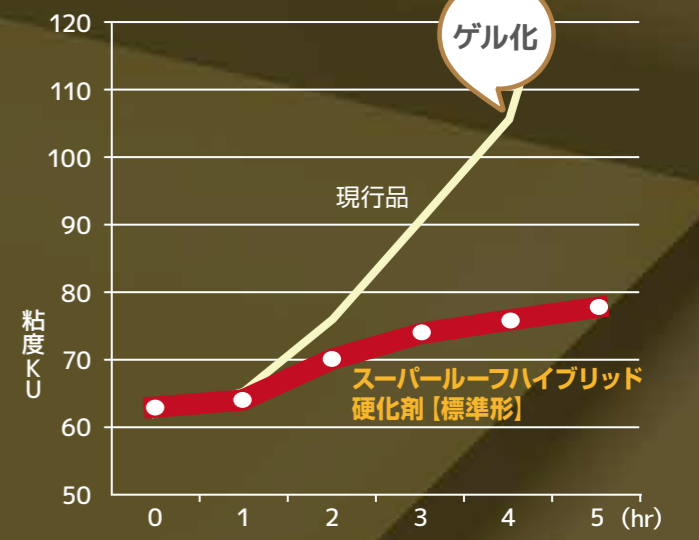


FOR EVERY SITUATION
IT RESISTS FREEZE
LUSTER CONTINUES FOR A LONG TIME
IT DRY IMMEDIATELY
ECONOMY
IT SUPPORTS ALL COLORS

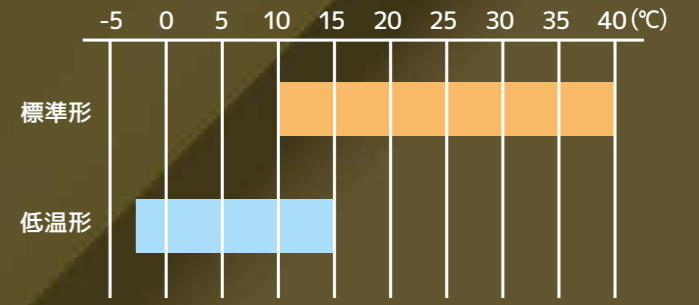
スーパーハイブリッド硬化剤 【標準形】・【低温形】の特徴

- 1液でも高性能ながら、ハイブリッドシステムを用いることで更に強靱な塗膜が得られます。効果としては初期光沢、光沢保持性、密着力、耐水性、初期硬化性などの向上が大いに期待できます。
- スノーダクトや勾配の緩い屋根は長時間雪が乗っている状態が続くため、解けた雪が水となり塗膜表面に長時間滞留します。それにより塗膜の「ふやけ」や凍結融解の繰り返しが原因による塗膜剥離が発生する確率が高くなります。この過酷な条件下でハイブリッドシステムは威力を発揮します。
- 「必要なときに必要なだけ」使用できるため材料ロスの改善になります。
- 【低温形】は、塗膜の硬化スピードが速くなり、初期耐水性(3時間/5°Cレベル)が向上します。(結露対策)

【標準形】のポットライフ 高温(40°C)環境での粘度変化



硬化剤の選び方



試験結果

製品名	スーパーシリコンルーフペイント	スーパーシリコンルーフペイントハイブリッドシステム	スーパーフッソルーフペイント	スーパーフッソルーフペイントハイブリッドシステム
	光沢20/60°グロス	76/85	83/90	80/90
凍結融解サイクル	30サイクル	○	○	◎
	50サイクル	△	○	◎
塗膜物性	伸び率(%)	79.0	98.0	75.2
	破断応力(N/mm)	10.5	13.0	12.5
促進耐候性 XWOM 3000時間	光沢保持率(%)	86	90	91
	色差(ΔE)	0.67	0.41	0.39

性能比較表

製品名	スーパーシリコンルーフペイント	スーパーシリコンルーフペイントハイブリッドシステム	スーパーフッソルーフペイント	スーパーフッソルーフペイントハイブリッドシステム
初期光沢	○	○	◎	◎ ⁺
色・光沢保持性	○	○	◎	◎ ⁺
密着性	○	◎	○	◎
耐水性	○	◎	○	◎
耐凍害性	○	◎	○	◎

標準塗装仕様書

下地処理要領		上塗の施工要領				
素地調整		塗布量 (kg/m ² /回)	希釈率 (%)	塗装間隔	膜厚 (μ)	
劣化した旧塗膜やさびは、ワイヤーブラシ・サンドペーパーなどを用いて除去し、ゴミ・汚れのない清浄な面とする(3種ケレン以上)。ケレン後は高圧水洗いで洗浄し、十分乾燥させる。素地露出部は下塗工程で補修塗りをを行う。		スーパーフッソルーフペイント + スーパーハイブリッド硬化剤(ベース)7/(硬化剤)1	刷毛・ローラー 0.11 スプレー 0.14	0~10 5~15	23°C 2時間以上	20~25
下塗の選定要領		スーパーフッソルーフペイント + スーパーシリコンルーフペイント + スーパーハイブリッド硬化剤(ベース)7/(硬化剤)1	刷毛・ローラー 0.11 スプレー 0.14	0~10 5~15	—	20~25
下地の状況	標準仕様・密着性向上	亜鉛メッキの露出・新設トタン・防食性向上・密着性向上	ガルバリウム鋼板	塩ビ鋼板	屋根用化粧スレート・セメント瓦 (一部洋風瓦除く)	
下塗	ルーフエポプライマー・ザウルスEXII 1液エスコマイルド	エポマリンGX・エスコNB・エスコ・アルテクトNB・スーパーザウルスII	エポマリンGX・スーパーザウルスII	エポマリンGX・エスコNB・エスコ・アルテクトNB	Mシリコンプライマー・ヤネ強化プライマーEPO 浸透形Mシーラー(透明・白)	

※スーパーフッソルーフペイントは金属系屋根専用の上塗塗料となります。

製品概要	製品名	混合比	荷姿
	スーパーハイブリッド【標準形】【低温形】硬化剤	7:1 14Lを14kg、2Lを2kgと換算してご使用ください	14L(1斗缶)に対して 1L×2本

塗装上の注意事項

- ① 使用前にはマーゼールなどの電動攪拌機を用いて十分攪拌してください。
- ② 下地調整が不十分だと、塗膜剥離の要因や、艶が出ない等の仕上がりが不良になる場合があります。塗替の場合、必ず高圧水洗・デッキブラシ等を用いて水洗いを行って、旧塗膜や付着物を入念に除去し、清浄な面にしてください。
- ③ 高圧洗浄後は被塗面を十分に乾燥させてください。フクレ・割れ・ハガレの原因になります。
- ④ 低温(5℃以下)・多湿(85%以上)時の塗装や未乾燥の状態では夜露にあたると、つや引けを起こす場合があります。
- ⑤ 他の塗料との混合は絶対に避けてください。
- ⑥ 使用した塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーをご使用ください。
- ⑦ エアレスでの塗装の場合、塗装ミストが飛散しないよう、十分な養生を行ってください。特にハイブリッド仕様は、硬化後は溶剤に溶けにくいので十分ご注意ください。
- ⑧ 高圧洗浄を行うと屋根が非常に滑り易くなりますのでご注意ください。旧塗膜がグラファイト顔料を用いた塗材の場合は特にご注意ください。
- ⑨ ボットライフは30℃(低温形は10℃)で4.5時間ですので、その間で使い切れる程度の量を調整してご使用ください。
- ⑩ 薄膜とならないよう、膜厚は十分確保してください。薄膜の場合は剥離事故の危険性が著しく高くなります。特にローラー塗装や過希釈はご注意ください。
- ⑪ スーパーリコンルーフや消しには、ハイブリッド硬化剤は使用できませんのでご注意ください。

ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。
詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

【予防策】

取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・入り巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
楔火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。
本来の目的以外に使用しないこと。
指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

【対応】

目に入った場合・直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
皮膚に付着した場合・直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。

吸入した場合・空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合・直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

【保管】

指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

【廃棄】

本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときには、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

【施工後の安全】

本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うよう指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでベンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。



関西ペイント販売株式会社

北海道販売部	〒061-3244 北海道石狩市新港南2丁目718-4 TEL (0133) 64-2424 FAX (0133) 64-5757
東北販売部	〒983-0004 仙台市宮城野区岡田西町3-40(KSCビル) TEL (022) 287-2721 FAX (022) 288-7073
北関東信越販売部	〒321-0953 宇都宮市東宿郷4丁目2-24(センターズ・ビルディング1F) TEL (028) 637-8200 FAX (028) 637-8223
松本営業所	〒390-0833 長野県松本市双葉10番22号(双葉町ビルB棟2階202号) TEL (0263) 26-3377 FAX (0263) 26-3322
新潟営業所	〒950-0088 新潟市中央区万代5丁目7-2(シアース万代 西309) TEL (025) 246-3347 FAX (025) 241-9442
前橋営業所	〒371-0804 前橋市六供町1丁目13-1(YK第1ビル) TEL (027) 243-0388 FAX (027) 243-0396
東京販売部	〒144-0045 東京都大田区南六郷3丁目12-1 TEL (03) 5711-8905 FAX (03) 5711-8935
横浜営業所	〒235-0036 横浜市磯子区中原1丁目2-31-204 TEL (045) 761-7390 FAX (045) 761-7395
川越営業所	〒350-1123 川越市脇田本町13-22(仲ビル5F) TEL (049) 243-4351 FAX (049) 243-4356
静岡営業所	〒422-8008 静岡市駿河区栗原12-9 TEL (054) 262-4747 FAX (054) 262-0330
中部販売部	〒460-0007 名古屋市中区新栄1丁目29-25 TEL (052) 262-0921 FAX (052) 262-0981
三重営業所	〒510-0101 三重県四日市市榑町小倉1804-5 TEL (059) 397-3313 FAX (059) 397-4887

大阪販売部	〒541-0042 大阪市中央区今橋2丁目6-14 TEL (06) 6203-5701 FAX (06) 6203-5603
神戸営業所	〒650-0022 神戸市中央区元町通6丁目1-8(東栄ビル702) TEL (078) 367-1281 FAX (078) 367-1283
北陸営業所	〒924-0013 石川県白山市番匠町50-1 TEL (076) 275-7200 FAX (076) 275-7900
北陸営業所(富山G)	〒930-0004 富山市桜橋通り2-25(富山第一生命ビル) TEL (076) 432-0109 FAX (076) 432-0189
中国販売部	〒732-0052 広島市東区光町1丁目12-16 TEL (082) 262-7101 FAX (082) 264-3285
岡山営業所	〒700-0972 岡山市北区上中野1-16-2 TEL (086) 245-9455 FAX (086) 245-9460
四国販売部	〒763-8510 香川県丸亀市土器町北2丁目88 TEL (0877) 24-5484 FAX (0877) 24-4950
高知営業所	〒780-8007 高知市仲田町2-28 TEL (088) 831-1577 FAX (088) 831-2528
九州販売部	〒812-0007 福岡市博多区東比恵3丁目5-8 TEL (092) 411-9901 FAX (092) 441-3339
北九州営業所	〒807-0811 北九州市八幡西区洞北町2-10 TEL (093) 601-1336 FAX (093) 601-1371
熊本営業所	〒861-4101 熊本市南区近見8丁目14-66 TEL (096) 358-4011 FAX (096) 358-4014
鹿児島営業所	〒891-0113 鹿児島市東谷山1丁目73-13 TEL (099) 266-2960 FAX (099) 266-2962
沖縄営業所	〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客3丁目9-1(勢理客産業ビル4F) TEL (098) 870-8782 FAX (098) 870-8652